

八潮のおいたちの再現をめざして

市史編さん事業出発して2年

開発に泣かされる貴重な資料

みんなの協力で保全を

現代の八潮は今日突然現われたものではありません。この八潮に先人が住みつてから、千数百年の歴史の歩みの中で築いてきたものです。

これから、八潮は無限に進歩発展してゆくものと考えられます。

そのために八潮はどのようなおいたちをたどり、形成されてきたのかを探り、明日の八潮へつなげることも大切なことです。

市史編さん事業は、この八潮のおいたちの再現をめざして行なわれております。

そこで市史編さん事業についてお知らせします。

市史編さん

事業の内容

現在、八潮のおいたちを知りたいと願っても、それについての文献がありません。

そこで、先人が歩んだ歴史的発展のあしあとを科学的に明らかにし、市民の皆さんの郷土に対する理解と愛着を深めていただくと共に、郷土の発展と市民文化の向上を促進し、永く文化遺産を後世に伝えてゆくために、市史編さん事業を行っています。

八潮市史の刊行計画としては次のように予定しています。

昭和56年度	史料編二
昭和57年度	〃 四
昭和58年度	民俗編
昭和59年度	史料編三
昭和60年度	史料編一
昭和61年度	通史編一
昭和62年度	通史編二

一度失ったら

二度と帰らない

是非保全にご協力を

市史を編さんするには、たくさんの歴史史料や民俗史料を必要とします。資(史)料があればある

だけ、正しい市史を編さんすることができません。

八潮は開発が急速に進行し、それと併行して、家の新築が進んだため、貴重な資料が、破壊されたり、損失したりしています。

これらの資料は、一度失ったら二度と帰らないものです。

みんなの協力で、こうした事態を防ぎたいものです。

昔からある古い書物、日用品、農具等たくさんあると思います。

これら古いものが手近にあったなら、「もうこんなものは使えない。処分しちゃおう」という前に、

市史編さん室へご連絡下さい。

また、それらのものが不要品でしたら市史編さん室にご寄贈いただければ幸いです。

最近では、骨董品ブームになっており、品によっては相当高値になっているものもあります。こんな場合でも、市史編さん事業を成功させるためにも、古物商に売らずに是非ご協力いただきたいものです。

資(史)料収集

調査にご協力を

現在、資(史)料収集、調査のために調査員がみなさんのご家庭を

回っております。調査員は市が発行した調査員の身分証明書を持っていますので、不審な点がありません。身分証明書の提示を求め下下さい。

市史編さん事業を無事に完成さ

せるために、資(史)料収集、調査活動に、市民のみなさんの暖かいご支援をお願いいたします。不審な点や詳細については市役所市史編さん室にご連絡下さい。

TEL 0221-2111 内線2233

八潮市史編さん委員

市では、市史編さんの事業

を行うにあたり、市史編さん

委員を委嘱いたしました。

委員の職務は市長の諮問に

応じ市史の編さん及び刊行に

関する事項を調査したり、審

議したりします。

なお、次の方が委員に委嘱

されました。

(敬称略)

◎加藤市三郎(八条)

◎委員長

◎副委員長

◎委員

◎委員

伝承資料調査にご協力を

現在、市では市史編さん事業の一環として、八潮市伝承資料調査を行っています。

市内には、親から子に、子から孫へと語りつがれてきたことや受けつがれてきた行事や風習がたくさん残っています。これを生活文化とい

ってまいります。

これらの文化は、記録には残っていません。おじいさんやおばあさんが、そのまたお

じいさんやおばあさんから聞いたり、見習ってきたものばかりです。

これらの行事や習慣は今まで記録されておられません。なので、これから、それらの文化を後の世に伝えてゆくために、記録に残しておこうとして行われるものです。調査員が参りましたら是非ご協力下さい。